

海田町水道ビジョン～概要版～

1. 水道ビジョンの概要と中間見直しについて

(1) 海田水道ビジョン（平成 31 年 3 月）

「海田町水道ビジョン」は、海田町水道事業の現状と将来見通しを分析・評価した上で、目指すべき将来像を描き、円滑な事業運営と経営の健全化を図るため長期的な視点から水道事業が取り組むべき課題、目標や実現方策等をまとめたものです。海田町では、平成 31 年 3 月に計画期間を 10 年間[令和元年度から令和 10 年度まで]とした「海田町水道ビジョン（以下、現行ビジョン）」を策定しました。

(2) 中間見直しについて

現行ビジョン策定後、料金改定を行い、費用を確保し国信浄水場の改修事業を実施するなど施設や管路の更新に取り組んできました。また、令和元年度には水道法の一部を改正する法律が施行されました。水道の基盤強化を図るため、点検を含む施設の維持・修繕など、水道事業者が実施すべき事項が明確にされ、要求水準が高くなりました。

現行ビジョンに示した方針に沿って、事業を推進してきましたが、策定後 5 年が経過したことから取組状況や目標値の達成状況を確認するとともに、海田町水道事業を取り巻く環境の変化を踏まえて中間見直しを行いました。

2. 海田町水道事業の現状と方向性

(1) 人口と給水量（本編 p6-8、p31-32）

給水人口は平成 24 年度以降微増の傾向が続いていますが、令和 12 年度をピークに微減に転じると見られます。また、**給水量は節水機器の普及などにより減少が継続すると予測されます。**

(2) 施設（本編 p9-12、p33-37、p45）

- **国信浄水場**は、改修工事を実施し、耐震化は完了しました。同時に、ろ過施設や管路、電気設備の更新も概ね完了しました。これにより、**引き続き、本町の中心的な施設(基幹施設)として安定した使用が可能となりました。**
- **蟹原浄水場**は、更新費用が高額となることを踏まえ、引き続き使用しながら、今後の運用を多角的に検討します。
- **基幹管路**は、令和 4 年度に策定した管路更新計画に基づき、**工事を進めます。**
- 水道施設を常に健全な状態に維持するとともに、水源水質の変化や法令の改正などにも適切に対応するため、必要な備えを行い、安定した水の安全性の確保を図ります。

施設名	施設状況	重要度	今後の方針
国信浄水場	改修・耐震化工事は概ね完了	高	継続使用(基幹施設)
蟹原浄水場	改修工事未実施	中	継続使用しながら検討
基幹管路	令和 6 年度工事着手	高	順次更新し、継続使用
国信配水池	改修工事完了	高	継続使用
石原配水池	改修工事完了	高	継続使用
三迫配水池	耐震性能あり・改修工事不要	高	継続使用
砂走ポンプ所	小規模であり、改修未実施	中	継続使用

安定した
使用が可能

更新工事を
進めます

(3) 水道事業の運営に係る費用の推移（本編 p14-15）

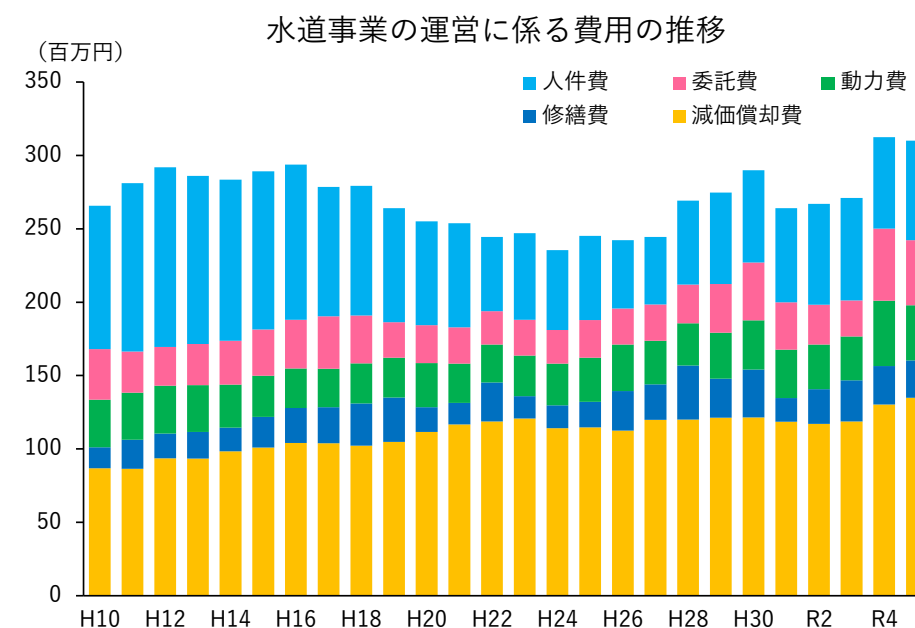
人件費：平成 10 年度と比較すると下がっていますが、近年は施設の更新事業や災害時対応のための人員体制の強化に伴い増加傾向にあります。

委託費：水道メーターの検針委託費の上昇などにより増加しています。また、今後は安全で安定した体制の構築のため浄水場運転管理の外部委託も推進する必要があります。

動力費：電気代の上昇により、増加しています。

修繕費：年度ごとの修繕内容の違いにより増減はありますが、材料費や労務費の上昇に伴い、増加しています。

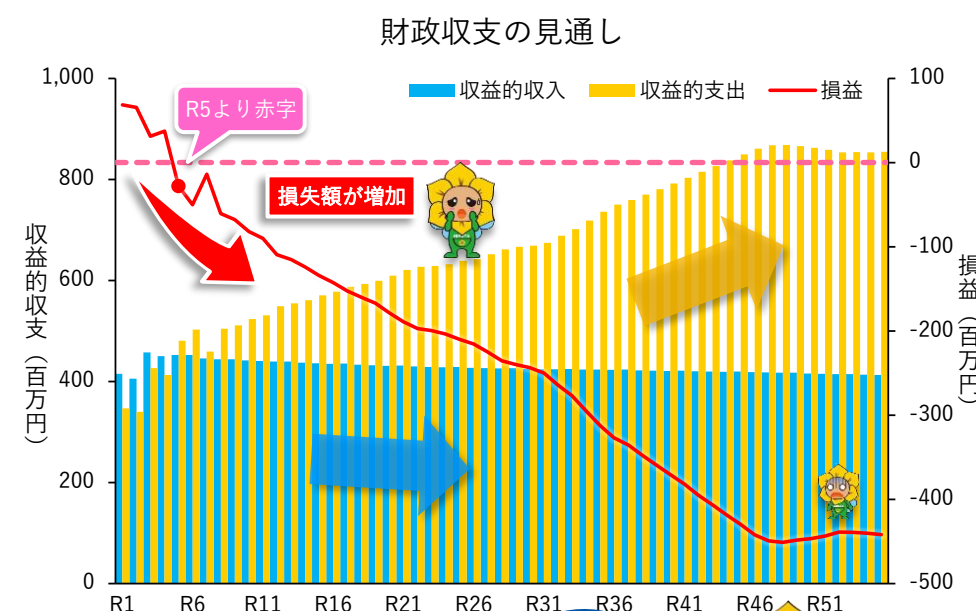
減価償却費：施設の工事費などを法定耐用年数に合わせて年度ごとに費用として配分するもので、現金の支出はないので、現金は企業内部に留保され更新工事に利用されます。今後も必要となる施設の改修工事や管路更新が増えることに伴い、増加していきます。



(4) 財政収支（本編 13-17、38-39）

物価上昇などを受けて今後も費用の増加が見込まれる中で、現在の料金体系を維持したうえで財政収支を見通すと、**令和 5 年度に単年度損益が赤字となり以降損失額は増加傾向となり、資金残高(内部留保資金)は令和 9 年度以降はマイナスに転じ、事業の継続が困難になります。**

引き続き、業務の一層の効率化やコスト削減に努めますが、**安全で安定した水道水の供給を維持し必要な事業を実施するためには、料金改定の検討が必要となります。**



料金改定
を検討！

3. 水道事業の将来像・実現化方策の進捗状況

現行ビジョンでは、海田町水道事業の将来像を

「安全で強靱な海田町の水道を未来へつなぐ」とし、

「安全」、「強靱」、「持続」の3つの基本目標と12の基本施策を掲げていました。

これまでの施策の取り組み状況について、整理しました。

【海田町水道事業の基本理念】

安全で強靱な海田町の水道を未来へつなぐ



安全

将来にわたって水源から給水栓に至る水質管理を今後も維持できる体制を構築します。

基本施策	具体的な取組	H30～R4	R5～R9	R10～R14	R15～R19	進捗状況	見直しの必要性
水源の保全	水源の適正管理					B：実施中	I：継続
	広島県との連携					B：実施中	I：継続
蛇口までの水質保持及び衛生対策の徹底	水安全計画の立案					A：実施済	
	水質検査計画に基づく水質管理					B：実施中	I：継続
	貯水槽水道等の指導管理					B：実施中	I：継続
	給水装置工事事業者の技術継承					B：実施中	I：継続



持続

将来を見据え、経費の適正化を図るとともに収入を確保します。組織体制を強化します。

基本施策	具体的な取組	H30～R4	R5～R9	R10～R14	R15～R19	進捗状況	見直しの必要性
水道施設の健全性確保と効率的な運用及び再構築	アセットマネジメントに基づく資産の適正管理					B：実施中	I：継続
	施設台帳に基づく計画的な点検整備補修					B：実施中	I：継続
適正な水道料金体系に基づく必要な収入の確保	中長期的財政収支見通しに基づく財政基盤の強化					B：実施中	I：継続
	水道使用者の利便性を考慮した支払い方法多様化の検討					B：実施中	I：継続
	滞納整理の強化					B：実施中	I：継続
業務の効率化と持続可能な組織の確立	広島県による協議会への参加による広域連携の推進					A：実施済	
	広島県や他水道事業体との広域連携の推進					B：実施中	I：継続
	業務委託領域の拡大や公民連携の調査研究					B：実施中	I：継続
環境の変化に対応した組織体制の強化	専門性を有した職員の確保と組織力の強化					B：実施中	I：継続
	研修等による経営や経理、料金、契約も含む知識の習得と向上					B：実施中	I：継続
コスト縮減や業務効率化	新たな発注方式や新技術等によるコスト縮減や、事務事業の再点検による業務の効率化					B：実施中	I：継続
住民ニーズの把握と情報開示	海田町水道事業審議会やパブリックコメント等によるニーズ把握					B：実施中	I：継続
	ホームページや広報紙などを通じた情報提供の充実					B：実施中	I：継続



強靱

災害等による施設の損傷を最小限にとどめます。災害対応力を強化します。

基本施策	具体的な取組	H30～R4	R5～R9	R10～R14	R15～R19	進捗状況	見直しの必要性
水道施設の耐震性向上	基幹施設の耐震化					B：実施中	II：一部見直しの上継続
	基幹管路の耐震化					B：実施中	I：継続
	配水支管・給水装置の耐震化					B：実施中	I：継続
老朽化した施設及び管路の計画的な更新	更新計画に基づく管路更新					B：実施中	I：継続
	診断に基づく施設更新					B：実施中	I：継続
	水道施設台帳の整備と設備の計画的更新					B：実施中	I：継続

基本施策	具体的な取組	H30～R4	R5～R9	R10～R14	R15～R19	進捗状況	見直しの必要性
災害時の応急活動体制の構築	危機管理マニュアルの充実					B：実施中	I：継続
	連携による災害対応力の強化					A：実施済	I：継続
	非常時対応容量の確保					A：実施済	I：継続
	応急給水や応急復旧の資器材備蓄					A：実施済	I：継続
災害時対応能力向上に向けた職員の育成と技術の継承	専門性を有した職員の確保と組織力の強化					B：実施中	I：継続
	防災訓練や研修等による職員の育成と技術の継承					B：実施中	I：継続